

国語

国語では、入門期には教科書の文を音読したり、絵を見て感じたことなどを話したりすることによって、耳から言葉を聞いて語彙を増やすことで表現力を高められるようにしてきた。

ひらがな、カタカナ、漢字の学習にも取り組んでおり、手本をよく見て、字を丁寧に書くように指導している。ひらがなは概ね書けるようになってきているが、「しゃ」「しゅ」「しょ」などの拗音や「っ」などの促音については、まだ定着していない児童がいるので、学習のはじめに言葉を書く時間を少しずつとるようにしている。

物語文では、登場人物のしたことなど書かれている内容をつかむことと、気持ちの変化などに気をつけて読むこと、説明文では、問いの文や答えの文の関係を考えたり、順序よく読んだりするなど、文章の読み方についても指導している。文章を書くことにはまだ慣れていないので、日記を書くことを取り入れたり、簡単な文章を書いたり、少しずつ定着をはかっていきたいと考えている。

算数

算数では、入門期では、いろいろなものを声に出して数えることが楽しくできるようにしてきた。

また、ブロックやおはじきを使い、具体的に操作することを通して、数に慣れ、理解を深めることができた。どの単元においても「10」をもとにして考えることを繰り返し指導してきた。

繰り上がりの引き算に関しては、まだ定着が浅いため、繰り返し練習すること、やり方を何度も確認することなどを通して定着をはかりたい。

国語

国語では、書こうとする題材に必要な事柄を集めることが苦手であった。

そこでまず、日記の指導を日常的に取り入れた。日記を書くために、はじめ・中・おわりの構成を意識させ、習った漢字も使っていくよう指導した。

その結果、4行程度しか書けなかった児童が、1ページ近く書けるようになってきている。「読む」については、動作化をさせることで、より深く読み取らせるように指導している。

また、難しい語彙は、そのつど辞書をひくことや本物を見せたり、写真を見せたりすることで理解させるようにしている。

算数

算数では、基礎的・基本的な力はついている。とくに、計算については、正確に解くことができている。

一方で、身の回りにあるものの形の特徴についてはあまり理解していない児童が多かった。

そのために、具体物を用いての指導を充実させ、実際に児童に操作させることを重点的に行っている。

国語に限らず、算数においても問題文をじっくり、しっかり読んで問題を解かすよう、引き続き指導していくよう心がけている。

生活・学習意識調査

生活・学習意識調査の結果から、国語・算数が好きであったり、大切であると考えたりする児童が多いことが分かった。

このことから、児童の学習への意欲をさらにかきたてられるよう、具体的で明確な課題を考えたり、具体物を用いたりすることで児童の学習に対する思いを大切にしていく。

一方で、家でお手伝いをする児童が、市の平均より低い状況にある。

このことから、生活科の時間に家族のことを考えさせたり、道徳の時間に家族や地域にも目を向けさせたりするようにしている。

国語

国語では、説明文の読み取りが不十分であった。

そこで、1年・2年で学習してきた説明文の特徴(クイズ型・観察文)3年の疑問を事例を挙げて説明する調査報告文との関連を意識した学習を進めてきた。

段落の要点や相互関係・構成の特徴などを正確に読み取ることで書く力をつけてきた。

また、基礎的な力を伸ばすために、常時漢字練習・辞書の活用・読書を朝学習・森東タイムで取り組んでいる。

算数・理科・社会

算数では、問題場面を理解する力・自分の考え、解決方法を表現する力・友だちと意見交換して考えを深める力を伸ばすことを重点にやっている。

文章題の読み取りや問題解決につかえる方法を探すポイントなどを様々な練習を重ねて経験させている。特にかけ算・わり算・小数・分数を年間継続して取り組ませている。

理科・社会も初めての学習なので学習方法を重視してきた。特に、自分の興味・疑問をもてる子どもを育てたいと考えている。

国語

国語の「読むこと」の説明文で、中心となる語彙や文章をとらえて、内容を整理することに課題があるという状況が見られたため、説明文や物語文を読む際には、主部、述部、主語、述語、接続詞、要旨等を重要な観点にしながらか指導をしていくように心がけている。

その結果、物語文においては、場面の移り変わりや登場人物の行動の様子から、登場人物の気持変化を読み取ることもできるようになってきている。

また、言語事項に関して、特に、漢字の読み書きや言葉の意味や使い方を理解することに課題のある児童がいるため、日々、繰り返しの学習や国語辞典や漢字辞典を学級に常備し、様々な場面でも活用できるよう指導を行っている。

算数

算数では、計算の仕方を考えたり説明したりする力がついている状況を示す一方、子どもによっては、基礎的な計算、例えば、引き算の繰り下がりの計算やかけ算の計算に課題のある児童がいるため、朝学習や森東タイムを活用したり、取り出し指導を行ったりしながら、基礎・基本の確実な定着をめざした指導を行っている。

また、問題文をよく読み、図式化したりして立式ができるようにすることや、学級での練り上げの時間(答えを求める際の考え方やその方法の説明・情報交換の時間)を重視した指導を心がけている。

生活意識調査

生活意識調査では、朝食を毎朝必ず食べるという割合が市の平均よりも低い状況が見られる。朝起きるのが遅くなり、朝食を食べる時間がないことが原因になっていると思われる。

そのため、ご家庭にも連絡し、連携をとりながら、一日の生活の時間をふりかえり、自分の課題を見つけて生活を改善していくことができるよう努めている。そのようなこともあり、学校生活においては、時間を意識して集団生活を送れるようになっている。

一日の読書時間が市の平均より短い状況がある。

そのため、各教科に関連した本を学級に揃えたり、読書に興味をもてるようにしたりしながら読書の環境づくりを行っている。そのようなこともあり、国語のシリーズ読みや同じ作者の本、科学読み物など読書量や読書のはばが広がっている。

国語

国語の「話すこと・聞くこと」では、提案の役割を理解し、進行にそって話し合うことに課題があるという状況が見られたため、学級会では役割や提案理由を明確にして話し合ったり、国語の学習で討論会を行ったりした。

その結果、自分の考えを明確にもち、話し合いの流れにそって意見が言えるようになってきている。

また、言語事項に関して、漢字の読み書きが十分に定着していなかったもので、新出漢字については練習とミニテストを繰り返し行うことで、少しずつ力をつけている。

算数

算数では、計算の技能面で課題が見られた。

特に、大きな数の学習や分数、小数の計算に課題があったため、小数のかけ算、わり算の学習では、自分の考えをまとめ、発表し合う活動を大切にすることで理解を深めた。

また、基礎的な計算力をつけるため、朝学習や森東タイムを活用しながら個別の指導をしたり、テストの答え合わせを丁寧に行ったりしている。

生活意識調査

生活意識調査では、進んで発言する児童が多く、自分の考えをもって授業に取り組んでいることがわかる。

一方で人の気持ちを考えて行動することに課題が見られた。そのため、トラブルが起きた時には話し合ってお互いの気持ちをよく聞き、どうすればよかったかを振り返ることができるように指導してきた。

これからも相手の気持ちを考えながら過ごす大切さを繰り返し伝え、温かい雰囲気仲間づくりを目指していきたい。

国語

国語では言葉の中で『送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる』に課題が見られた。

全体的に漢字の読み書きが弱いため、今年度は基礎基本をさらにしっかりと定着させるために、定期的な漢字の書き取り練習や小テストに取り組んだ。自主的な取り組みになるように練習やテストでは評価の仕方を提示し、児童がめあてをもって取り組めるように支援してきた。

言語活動を中心とした単元の構成をはかることで、みんなで学習に取り組むという意識を育ててきた。自分の考えを積極的に発表しそれを共有する活動をしながら、自分の考えを相手に伝え、それをしっかりと聞くことを価値付けていった。

6年生

算数

算数では『展開図から立体を構成し、立体の体積を求めることができる』がやや弱かった。

計算は得意であり平面図にも対応できるが、立体的な問題となると苦手意識をもつ児童が多い。

空間認知力を高めるために、できるだけ具体物を使いながら操作活動に取り組ませるようにしてきた。

国語と同様に、自分の考えを伝えることに重点を置き、問題の解き方や考え方を自分の言葉で説明させるように支援してきた。